

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4070201142		
法人名	医療法人正周会 水巻共立病院		
事業所名	グループホーム 玄海の森 (西館)		
所在地	〒808-0123 福岡県北九州市若松区大字有毛2933-6 Tel 093-742-5567		
自己評価作成日	令和03年09月10日	評価結果確定日	令和03年10月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号 Tel 093-582-0294		
訪問調査日	令和03年10月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム玄海の森の理念である「自分らしくのんびりと共に過ごす豊ん日々」を念頭に、家庭的な雰囲気大切にいつまでも自分らしく、その方らしい暮らしができるように職員は入居者様一人ひとりと向き合いサポートしています。立地は森と海に囲まれた自然豊かな所にあり、小鳥のさえずりを聴きながらゆったりとした静かな空間で過ごせ、リビングからは庭や豊かな緑が満喫でき季節の移り変わりや天候の様子などが実感できる環境となっています。また、新型コロナウイルス感染症への対策もしっかりと行い協力医療機関との連携で往診もあり医療面でも安心な介護サービスをご提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
62	利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	誰もがすぐ見えるよう玄関脇に理念を掲げ「自分らしくのんびりと共に過ごす豊かな日々」を念頭に置きそれ以外に利用者の楽しみ事等日々のケアに取り入れ支援している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年町内の祇園祭りや敬老祝賀会等に参加させて頂いたりボランティアによる音楽療法等を受け入れ交流をしていたが新型コロナウイルス感染症の流行により地域の方との関わりは感染症対策の為自粛している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営促進会議にて「認知症」を議題に上げ、事例を交えより理解が深められるよう分かりやすく、またさまざまな情報提供が行えるよう心がけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。区長、地域の方、包括支援センター、他施設の職員等に呼びかけ感染症対策を行い参加して頂いている。会議では、入居者の生活状況やサービスの取り組み等報告し様々な意見交換がなされている。意見等は議事録に明記しサービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営促進会議では、地域包括支援センターの方が必ず1名出席されています。その際に実情をお伝えし問題や課題等起きた場合は口頭や電話等にて連絡を取り指導・助言をお願いし協力を得ている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年2回以上は内部研修にて身体拘束について学び理解を深め職員同士で話し合い何気なく使用する言葉の見直し(スピーチロック)に重点に置くなど身体拘束をしない取り組みを行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修にて虐待について学び、職員同士が日々ケアの中で虐待につながるような事をしていないか確認しあう事で見逃ごしを回避している。また職員自身行動を振り返れるようミーティング等で話し合いをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての内部研修を実施し制度への知識を職員が持ち説明が行えるよう努めている。現在、利用されている方はおらず、いつでも気軽に相談出来るよう資料の準備をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時や改定の際には、ご家族様に十分な説明が行える時間を設け事項を口頭で一つずつ丁寧に読み上げ理解・納得の有無の確認を行っている。また、説明の際には、感染症対策を行っている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	匿名でも意見が書けるよう玄関ホールに「ご意見箱」を設置しています。来館の際には、近況をこちらから報告し気軽にお話し出来る雰囲気を作っております。また、ご意見や要望・相談・苦情などあった際は検討し解決・改善している。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを月1回行い、職員同士意見交換や情報収集が行える時間を設けている。業務内容や環境整備等その場で解決出来る事項は即改善し、すぐに改善・解決出来ない内容も検討し返答している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力や実績により役割を与えやりがい作りに努めています。個々が希望する研修への参加もスキルアップ出来るよう受講の支援をしている。ストレスや疲労が蓄積しないよう改善が図れる部分について出来る限り対応し向上心が持てる職場環境に努めている		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用・募集については、性別・年齢不問とし職員の能力が活かせるよう個人の能力に合わせて研修に参加しスキルアップを促している。職員同士が補足しあえる働きやすい職場環境を目指している。内部研修についても、興味を引くような内容を考え対応している。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	内部研修にて、人権教育や接遇・虐待・身体拘束等実施し学ぶ事で実践に役立てている。入居者様がその方らしい生活が送れるよう尊重し接し方や言葉かけ等介護側本位にならないよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務年数や経験を考慮し外部研修への参加や行事担当などの役割を与えている。また、安心して働けるよう適宜ヒヤリングを実施。一人で抱え込まないように配慮している。内部研修は、知識が養えるよう必要な物を考え取り込んでいる。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での会議等で情報交換や各施設の課題等意見交換しサービスの質の向上につながるよう努めている。各種研修等ではリモート会議や動画を参考にしている。(コロナ禍の為自粛期間あり)		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、面談を行っています。必ず本人様と対話ができるよう時間を設け本人様が困惑されないよう簡単な質問から行い少しずつ意見・要望を引き出せるように努めています。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が望む本人様の暮らしや抱える不安や要望など例題を元に分かりやすく説明し話しやすい雰囲気を作っています。常に傾聴を心がけご家族が安心出来る関係性が築けるよう努めている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談にて、ご本人様とご家族様が必要とされている事、また、今後必要であろうと考えられるサービスや支援を状況や会話により読み取り様々な対応を考えサービスを選択・提案し柔軟な対応を心がけている。また、他のサービスの紹介を行ったりアドバイスを打てるよう努めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は同じ空間で共に暮らしているという意識を持ち、コミュニケーションを大切にしながら生活に寄り添い人生の先輩として色々と教えて頂きながら支えあう関係を築いている。また、お手伝いをして頂けた時は感謝の気持ちを言葉で伝えている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活のご様子や心身状態・受診時の報告等、電話や毎月のお手紙にてお伝えしている。また、困り事等ある際には、情報を共有し一緒に解決出来る関係性を築き相談しやすい雰囲気を作り信頼関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時、親類や知人など自由に面会出来るよう環境を整えている。コロナ禍の中、感染症対策を行い対応しているが情勢に応じ適宜面会時間の制限や自粛をお願いしている。		
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや季節行事等全員で参加が出来る事を企画し入居者様同士の交流が図れるよう努めている。また、関わりが円滑に行えるよう職員が橋渡し役になりよりよい関係を築いている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても面会や訪問・電話連絡を行ったり近況をお尋ねするなど馴染みの関係が継続出来るよう努め、また、いつでも相談出来る関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との会話やコミュニケーションを図りながら様子を観察し本人様の希望や意向を汲み取るよう努めています。また、言動による表現が困難な方へは日常の動作や表現から読み取るよう心がけている。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居初期時よりご家族様にご協力をお願いしセンター方式を取り入れ情報収集を行っています。本人様からは日常会話の中から情報を得られるようコミュニケーションを図っている。その他のご家族や知人等へは面会時、以前の生活の様子など気軽に話せる雰囲気を作っている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の生活能力や心身状態の変化・日常会話等個別に記録し現状把握出来るよう努めている。また、本人様の出来る事への対応として現状維持出来るよう声かけや見守り、また、出来そうな事については、向上できるよう支援している。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間との日々の情報交換や、本人様・ご家族様から得た情報を元に話し合い、意見やアイデアを取り入れ現状に即した介護計画を作成。担当者会議では、かかりつけ医からの意見も取り入れ状態変化等あった際にはその都度状態に合わせて見直しを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のご様子や身体状況・言動や精神状態等分かりやすく個別に記録し変化を見逃さないよう努めています。ケアの実践はチェックシートを使用し確認・見直しができるようにしている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ひとり一人の状態・状況を把握しご家族様の対応が難しい場合は病院受診等柔軟に対応出来るよう心がけている。また、新型コロナウイルスの流行により他者との行動規制時も情勢事情に合わせて感染症対策を行い面会時は体調確認後、消毒・マスク・検温、パネルを使用し出来る限り柔軟に対応している。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアを不定期に受け入れ交流を図っています。役所や病院等訪問した際は、最新の情報収集やパンフレットを取り揃え様々や資源・情報の把握に努めている。コロナ禍では、情勢に合わせて感染症対策をし受け入れの制限・自粛をしている。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に、本人様・ご家族様へ希望をお伺い現在のかかりつけ医継続または協力医院への変更は選択して頂き、協力医院への変更の場合は受診または往診対応(送迎・付き添い)行っています。歯科往診も週1回受け入れ行っている。		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報や変化、気づき等は日々介護記録に記載し介護記録より読み取りの確に伝達している。病院や連携施設の看護師とのコミュニケーションは図れており気軽に相談や疑問等話せる関係性を築いている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、本人様・ご家族様の同意を得て情報提供を行い、入院の手続きなど付き添う事で不安軽減に努めています。入院期間中は、定期的に病院関係者や面会・ご家族様に連絡するなどし病状の経過を把握。ホームでのご様子や周辺症状等分かりやすく病院関係者へ伝達出来るよう努めている。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、病状が深刻な場合やターミナルケア等の対応について本人様、ご家族様へ十分な説明を行います。医療機関との連携を図りながら可能な限りホームでの生活が維持出来るよう入居後も意向確認や今後の方針等話し合いを適宜行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	個々の身体状態を常に職員間で情報交換を行い急変時には即対応出来るよう緊急時や事故発生は初期マニュアルに沿って対応出来るよう備えている		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回以上、通報装置の取り扱いや火災(昼夜各想定)・地震・水害等の避難訓練を実施。ミーティングにて訓練後の見直しを行い再度避難場所の確認や今後の課題検討行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に対し日々の言葉使いや言動に注意し対応しています。内部研修等で個人情報の保護やどのような行為がプライバシー侵害に当たるのか等を学び周知徹底、実践している。		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様へ事前にお声かけをし自己決定ができるよう日常生活の様々な場面で希望を汲み取るようにしている。また、自己決定が困難な方であってもコミュニケーションをしっかりと取り選択しやすいようにしている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの長年培って来られた生活ペースを大切に寄り近づけるよう体調や精神状態等配慮しながらその都度確認し柔軟に対応出来るようにしています。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣の際には、本人様の意向を重視しバランスを考え希望に添えるよう対応している。定期的に訪問理美容を利用し散髪を行っている。洗面時は、整髪や化粧水やクリームを使用する等本人様にあったケアを行っている。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	美味しく食事が食べられるように口腔機能維持を図る為、口腔体操を実施している。食の楽しみが得られるよう誕生日会や季節行事等で普段食べれない物を企画し職員と一緒に準備し個々の能力に合わせながら食材切りや盛り付け等をお願いしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内施設の管理栄養士が考えた栄養バランスの摂れた食事を提供しています。摂食状態や体調に合わせ食事形態を変更。安心して食事が食べられるよう配慮しています。食事・水分量は記録し変化に気づけるようにしている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後に実施。職員が付き添い磨き残し等個々に対応し確認・介助にて口腔内清潔に努めています。週1回歯科往診にて治療や予防、相談・助言をお願いしている。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し入居者様の排泄パターンを把握している。定期・不定期に声かけにて誘導しトイレでの排泄を心がけなるべく失敗や不快感の少ない生活を送って頂けるよう努めている。		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘対策として食事以外でも水分補給や牛乳・乳酸菌飲料等を摂る事や、体操や歩行、軽い運動を行って頂くなど便秘予防に努めている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴中はゆったりとした時間を過ごしていただけるよう体調や気分、身体状態等を考慮し本人様の希望に添いながら傾聴出来る時間を作るなど落ち着いた気分で入浴できるようにしている。介助が必要な方は、2人対応にて介助し安全に入浴出来るよう支援している。		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状態を把握し、睡眠の妨げにならないよう入居者様の体調や希望に合わせて日中の活動やレクリエーションへ声かけし参加して頂いている。希望があれば昼間の休息も対応している。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルにて管理し服薬中の薬の内容説明がすぐに行えるようにしている。投薬介助の際は、声出し確認(記名・呼名)を行い誤薬のないよう対応している。また、効能や用量・副作用についても周知徹底行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、衣類をたたむ・干す、食器の片付けなど個々の能力に合わせて声かけし職員と共に楽しみながら行われている。一人ひとりが役割が持てるよう配慮している。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や気候の良い日に近隣を職員付き添いにて外出支援(散歩)をしている。コロナ禍の為現在は外出の制限や自粛をしている。だが、テラスでの短時間の気分転換は本人様が希望されれば対応している。		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の管理は、ご本人様・ご家族同意の元金庫にてお小遣い程度お預かりしている。収支は出納帳を付け毎月請求書とともにお送りし確認頂いている。希望時は代行し日用品の購入を行っています。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から電話があった際は、本人様へ伝え希望時は音量の調整など取り次ぎ介助をしています。また、季節の手紙(年賀状や暑中見舞いなど)を出しています。本人様宛の手紙が来たら声かけし目を通して頂いている。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは自然に入居者様が集まる場所となっている為、照明の調整やTVの音量等不快に感じられないよう対応している。フロアの窓が大きく圧迫感がない為四季折々の自然が感じられます。壁面等でも季節感を演出しています。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、食卓や和室を設備しており余暇時には各自お好みの場所で過ごして頂けるようにしている。毎月、壁面を取り換えたり話題の提供を行う等して和やかな雰囲気作りをしている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様が使い慣れた物を持参し置いて頂く事で馴染みのある環境で安心して居心地の良い空間で過ごして頂けるよう工夫しています。また、清掃の際は配置を変えないよう配慮しています。		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリー使用。和室以外は壁に手すりを設置し安全に移動が出来るよう対応している。車椅子使用の方でも移動がスムーズに行えるよう廊下やトイレの空間も広く設置している。介助する際にも残存機能を活かしより自立した生活が送れるよう対応している。		